

# 全苗連だより

Vol. 29 (12月号)

平成28年12月26日

発行：全国山林種苗協同組合連合会

Tel.03-3262-3071 Fax.03-3262-3074

## 平成29年度林野庁予算の概算決定の概要

### 「次世代林業基盤づくり交付金」でコンテナ苗生産施設の 整備など幅広く助成

政府は12月22日の閣議で、平成29年度予算について概算決定しました。林野庁予算の概要をお知らせします。まず公共事業については、森林整備事業予算が一般会計及び復興特会の計で57,844百万円(対前年度比100.2%)となっています。

森林整備事業により、我が国の豊富な森林資源を循環利用し、安定的な木材の供給体制の構築に資するとともに、地球温暖化防止対策としての森林吸収量3.5%の確保に向け、施業の集約化を図り、間伐や路網整備、主伐後の再造林等を推進するとともに、鳥獣害防止施設の整備等を推進することになります。

次に、非公共事業ですが、苗木に係る事業をピックアップしてみます。主伐後の再造林を確実に実施するとともに、花粉発生源対策や地球温暖化の防止等の社会的なニーズに対応した苗木について、低コスト造林に不可欠なコンテナ苗により安定供給していくことが重要です。そのために、苗木安定供給推進事業を今年度に引き続き推進することとしています。

#### 【苗木安定供給推進事業（継続）】【概算決定額 148,760(164,201)千円】

<内容>

##### (1)花粉発生源対策採種園の整備等

###### ① 採種園等の造成・改良

花粉症対策品種や成長に優れた品種等の苗木生産を目的とした採種園等の造成・改良を支援。

###### ② 採種園の再活用

安定的な種子確保及び種子生産量の拡大を目的とし、国有林を対象とした利用されていない採種園の再活用を実施。

###### ③ 造林地における穂木採取のための整備

国有林の人工造林地を穂木の採取源として活用するための条件整備を実施。

###### ④ 種子の生産拡大

種子の生産拡大のため、人工交配を実施する者を対象として都道府県が行う技術研修を支援。

##### (2)花粉症対策苗木の供給拡大

**優良種苗の供給拡大のために、全国各地で苗木生産者を対象として行うコンテナ苗生産の技術研修、巡回指導を支援。(全苗連では引き続き対応する考えです)**

##### (3)花粉症対策苗木への植替えの促進

花粉発生源となっているスギ林において花粉症対策苗木への植替えを促進するため、スギの加工業者等が行う森林所有者への働きかけ等を支援。

<補助率等> (1) 1/2(国有林は直轄) (2)、(3) 定額

<事業実施主体> 国、都道府県、認定特定増殖事業者、事業協同組合、農業協同組合、森林組合、民間団体等

続いて、需要に応じた低コストで効率的な木材の生産・供給、木材利用の拡大を実現するため、CLT等を活用した木造公共建築物の整備等により需要拡大を図るとともに、木材加工流通施設、**苗木生産施設等の整備**、間伐材生産・路網整備などを総合的に支援することを目的としている次世代林業基盤づくり交付金が拡充されました。

【次世代林業基盤づくり交付金】【概算決定額7,009,571(6,140,633)千円】

1. 次世代木材生産・供給システム構築事業 1,879,500(2,000,000)千円

間伐材の供給力の強化のため、路網整備、伐倒・搬出等を推進。

2. 森林・林業再生基盤づくり交付金[拡充] 4,121,071(4,140,633)千円

木材利用の拡大、木材の安定的・効率的な供給等のために必要な機械施設の整備等について支援。

①木材利用の拡大

ア公共建築物等木材利用促進法に規定する木造公共建築物等の整備

イ木質燃料製造施設や熱供給用木質バイオマスボイラー等の整備

②木材製品の安定的・効率的な供給体制の構築

CLT等の新たな製品をはじめ木材加工流通施設の整備を支援。

③林業の効率的かつ安定的な経営基盤の確立

ア高性能林業機械等の導入

イ林業事業体の雇用の改善・事業の合理化等のための講習会及び林業労働災害防止のための研修等  
ウほだ場等の生産基盤や生産・加工・流通施設等の整備

④森林保全の推進等[拡充]

ア森林環境教育など継続的な体験活動の場等となる森林・施設の整備

イ森林病虫害や野生鳥獣の被害防止による森林資源の保護の推進等による森林環境の整備・保全

ウ行政と住民との防災に関する情報共有体制の整備

エ大規模な山地災害の発生時における都道府県間の協力体制の整備等により地域の防災体制の強化

**オ主伐後の再造林を確実に実施するために、低コスト造林に資するコンテナ苗を大量に供給する苗木生産施設等の整備**

3. 林業成長産業化地域創出モデル事業[新規] 1,009,000(—)千円

地域の森林資源の利活用により、多くの雇用や経済価値を生み出す地域を「林業成長産業化地域」として指定し、重点的に支援。

<交付率> 定額(1/2、1/3等)

<事業実施主体> 国、都道府県、市町村、森林組合、林業者等の組織する団体、木材関連業者等の組織する団体、森林整備法人等

最後に、花粉発生源対策の推進です。スギの花粉症対策苗木の供給量は平成17年度の9万本から平成26年度には258万本と約30倍に増加していますが、スギ苗木供給量全体に占める花粉症対策苗

木の割合はまだ約 15%という状況です。このため、花粉症の緩和に向け、花粉症対策苗木の更なる供給増大を図るとともに、山元での植替えを促進することとしています。

#### 【花粉発生源対策の推進】【463(402)百万円】

<主な内容>

##### 1. 花粉発生源の植替えの促進69(69)百万円

###### (1) 花粉症対策苗木への植替えの促進50(50)百万円

花粉発生源となっているスギ林において花粉症対策苗木への植替えを促進※するため、スギの加工業者等が行う森林所有者への働きかけ等を支援します。

※ これに関連して、花粉症対策苗木の供給体制が整い次第速やかに、スギを植栽する場合には原則として花粉症対策苗木のみを森林整備事業の補助対象とすることを目指します。

###### (2) スギ・ヒノキ花粉飛散量推定等の推進19(19)百万円

スギ・ヒノキの花粉発生量推定のための雄花着生状況調査及び実証調査を支援します。また、森林所有者等に対し、花粉発生源対策に係る普及啓発活動を支援します。

##### 2. 花粉症対策苗木の需要・供給の拡大365(325)百万円

###### (1) 生産体制の整備

###### ① 花粉発生源対策採種園の整備等82(87)百万円

花粉症対策品種等の苗木の生産を目的とした採種園等の造成・改良や人工交配に関する技術研修等を推進します。

###### ② コンテナ苗生産基盤施設等の整備249(219)百万円 \*次世代林業基盤づくり交付金の内数

花粉症対策に資するコンテナ苗等を大量に供給するため、苗木保冷库を含む苗木生産施設等の整備を支援します。

### 全苗連・苗組の行事予定

～H29. 3 ①コンテナ苗生産未経験者を対象とした研修会 ②コンテナ苗生産新規参入者を対象とした

研修会 ③コンテナ苗生産経験者を対象とした巡回指導等 実施者;該当道県苗組

1月 4日 林業関係団体等新年賀詞交換会(三会堂ビル石垣記念ホール)

1月 23日 28年度中央需給情報連絡協議会(林友ビル)

2月 2日 平成28年度林木育種成果発表会(木材会館(東京都江東区))

2月 10日 関東地区林業用種苗需給調整協議会(茨城県 ホテルレイクビュー水戸)

3月 23日 林業退職金共済事業関係第34回運営委員会(JAビル(東京都千代田区))

9月 7日 全苗連生産者の集い(福岡市 都久志(つくし)会館)

～8日

